



通訳の上手な使い方

東京丸の内ロータリークラブ会長 古山真紀子様

紹介者 牛島 聡会員

卓話者紹介 牛島 聡会員

お父様の転勤で、幼少時にロンドン、中学時代は NY で過ごされた帰国子女でいらっしゃいます。上智大学ご卒業後、日本興業銀行に勤務、退職後、メキシコに 3 年半住み、帰国後、放送通訳の訓練を受け、主に NHK の BS で外国のニュースの通訳（英日）を始め、NHK 地上波のニュース番組や相撲放送等で日英の通訳、その後、一般的な会議通訳の仕事もされています。趣味は相撲観戦。ロータリーには 2017 年に入会しました。

通訳という仕事をご存知だと思いますが、普段どんなことを考えて仕事しているのか、お話しします。

通訳には、いくつか種類があります。ガイド通訳、放送通訳、会議通訳。『ガイド通訳』は、英語の唯一の国家資格です。「ガイド」なので、基本的にお世話するのが好きな人向きです。『放送通訳』は、1991 年の湾岸戦争をきっかけに大きく増えました。CNN や NHK の BS チャンネルで、海外のニュースを同時通訳して放送に乗せる仕事です。戦争が落ち着くと同時通訳は減り、現在は、外国の通常のニュース番組を短い時間をかけて訳し、放送の際にリアルタイムで訳を出す、いわゆる「時差通訳」が主流です。私はニュースが好きなので、NHK の BS の放送通訳として、仕事を始めました。CNN は現在も同通ですが、NHK でも同通で出す場合があります。例えばアメリカ大統領選挙の開票速報、大統領の就任式、一般教書演説。地上波ではノーベル賞の発表や、日米共同記者会見。逆に、副音声にすると、地上波の夜 7 時のニュースや相撲放送、さらに総理会見などを英語で聞けます。3 つ目が、『会議通訳』です。ガイド通訳と放送通訳以外の通訳で、大規模な国際会議から、少人数の商談、表敬訪問、アテンドまで、ざっくり『会議通訳』と言います。ここ数年は、私はこちらの割合が増えてきました。

通訳のやり方として、大きく分けて『同時通訳』と『逐次通訳』があります。同通の方が難しそうに見えますが、実はブースに籠れる『同通』より、人目にさらされながら訳す『逐次』の方が大変です。

写真は 2016 年、小池百合子氏が初当選した都知事選の投票日の二日前の外国人記者クラブです。実は泡沫候補がいっぱいいいて、「主要候補は個別に呼んだのに、自分たちを呼ばないのは不公平だ！」ということで、投票日の二日前に、10 人以上まとめて記者会見をしました。仕事の依頼は前夜、10 人以上の公約を準備するものの、人前での通訳は慌てました。

『会議通訳』は、秋が繁忙期です。季節性があります。通訳の需要は、活動がある所に発生します。夏休みが終わって気候が良くなり、年末まで全世界で経済や学術活動、文化交流が盛んになって人の往来が増え、それに伴って通訳も忙しくなります。コロナがなければ、今頃は多忙です。次に忙しいのが春です。今年の

春、コロナの感染拡大が始まると、仕事がハラハラと消えて行きました。ただ、その後 zoom を使った会合やシンポジウムが、全世界で短期間のうちに目覚ましい進歩を遂げました。Zoom には、同通機能が付いていて、それを活用しています。世界の各地域を同時につなぐイベントが増え、コロナ以降、時差の関係上、夜の仕事が増えました。これまでなかなかやり取りがなかった国とつながる時は感動します。お茶の水さんがオンライン会員をコロナ前から検討されていたのは、大変先進的だと思います。

通訳者はフリーランスが多いです。外資系企業などで、通訳が社員になっている場合もありますが、基本的に複数のエージェントに登録して、そこから仕事のたびに派遣される、という形態が主流です。永遠の日雇いです。

今年入ってから私の仕事の一部です。バイデン大統領就任式、ヒップホップのシンポジウム、バチカンと日本…。テーマはバラバラで、ニュースは毎日追えますが、ヒップホップやバチカンに関する会議は、一から知ることだらけでした。つまり、事前準備、勉強が必要になります。通訳は、実際の業務時間よりも、事前の準備に多くの時間を使っています。

日雇いの通訳は、何人くらいいるのでしょうか。まず主要な英語ですが、具体的には分かりませんが 1,000 人以上はいると思います。人数が多いので、特定のテーマに強い人に依頼したければ、それも可能です。医学に詳しい人、原発に詳しい人、あるいはスポーツが得意な人など、非常に層が厚いです。主要ヨーロッパ言語や、中国語、韓国語は、おそらく 50 人から 100 人はいますが、同通ができる人は限定されます。中国語の場合、北京語が主で、広東語は少ないようです。

では、主要言語以外の通訳者は何人か？古い情報ですが、ロシア語は、常時活躍しているのは 20 人と聞いています。アラビア語は 10 人くらい。ギリシャ語は 20 年ほど前で 3 人。アルバニア語は通訳がいなくて、たまたま、留学中のアルバニア人に、アルバニア語から英語にしてもらい、それを日本語に訳す、ということをしました。モンゴル語は？モンゴル大使館の HP には、通訳ができる人、5、6 人のリストがありました。ただ、留学生はいずれ帰国するでしょう。最近では経済活動が再開して、モンゴルとのやり取りも増えるかも知れません。でも、通訳できる留学生は帰国しちゃった。その場合、どうするか。モンゴル出身のお相撲さんにお問い合わせの手があります。白鵬に「通訳をお願い」、と。不安があったとしても、自分がまったくできなければ、そういう人にでもお願いせざるを得ません。

そこで、どんな人に頼んでも大丈夫なようにするために、「通訳の上手な使い方！」についてお話しします。

その 1. 何はなくても、資料・情報を用意して頂きたい。どこかに同行して通訳をするのであれば、どこに行くのか、誰と会うのか、何を伝えたいのか、対立点があれば、それは何か。シンポジウムであれば、テーマは何か、登壇者は誰か、の基本的な情報は、必ずお願いします。講演の場合、読み原稿があれば、万々歳。それが無理でも、パワポやアウトラインを頂きたいです。さらに

叶わなければ、せめて事前に打ち合わせをして、何を言おうとするのか、把握したいです。

なぜか。

時々、「通訳は聞こえたことを、そのまま訳してくれば良いから」と言う人がいます。しかし、聞いただけでは正確に訳せません。資料が欲しいのは、正確に訳すため、につきます。例えば、「Brown is fine」を、どう訳しましょうか。「茶色で良いですよ」かも知れません。でも、「ブラウンさんは元気です」もありえます。つまり、文脈が分からなければ、ずれた訳になってしまいます。また、先日の「バチカン」関連の仕事で、「ちようざいしさい と かいしゅんしゃ」という言葉が出てきました。聞いても、漢字が思い浮かびません。色々調べたら、「聴罪司祭と悔悛者」だと分かりました。漢字は分かりましたが、英語が出ません。専門性の高い内容は、何よりも準備が必要になってきます。つまり、「聞いたことをそのまま」訳せないのです。

資料が欲しい、二つ目の理由は数字です。数字は、理由があって提示するものです。GDPのニュースなら、いくらなのか、いくら減ったのか、いつ以来の悪化か、などを最も伝えたいはずです。例えば、お茶の水さんのHPから拝借しました。『東京お茶の水 RC は平成5年10月13日に結成。現在、会員数37名、平均年齢64.27才、平均出席率81.61%』。これを耳からだけで把握しようとすると、するっと抜けてしまいます。是非、データで頂きたい。また、元号はできれば西暦にお願いします。単位もお願いします。区役所の税金担当の方が、「納税は200万、300万には厳しい」とおっしゃいました。人数かと思ったら、年収でした。税金関係者には当たり前前の情報かも知れませんが、分かりませんでした。

放送通訳の場合、「放送禁止用語」に注意する必要があります。特にNHKには抗議が多く来るので、神経質になります。障害に関する差別的表現は、使われなくなってきましたが、そうした言葉から派生する、「つんぼ枚敷」、「めくら減法」、「片手落ち」も控えるように言われます。精神障害では、「馬鹿にならない」もダメ。「き」で始まる日本語はご法度ですが、「クレイジー」はなぜかOKです。

他にも、「メッキがはがれる」。京都のメッキ組合から、「最近のメッキははがれない」と抗議がきました。「将棋倒し」は日本将棋連盟から。「台湾」は国として認められていないため、「政府」「首相」「国民」などは使えません。

資料を頂きたいのは、会議や交渉の場だけではありません。おそらく皆さまの多くが、パーティーやレセプションなどで、「一言ご挨拶を」とお願いされると思います。その時、通訳は「原稿あれば見せて下さい」とお願いします。すると、大体言われるのが、「いや、全然ない。でも、大丈夫。当たり前のことしか言わないから」。確かに、内容は大体おもしろくないです。でも原稿が欲しいのは、言及するであろう、主催者や来賓の名前と肩書を知りたいからです。特に、イベントが複数の組織による共催の場合、それぞれお偉方が来ている場合、また来賓がいらしている場合、その場にいる人たちにとっては、自分の組織や上司の名前、来賓の名前や肩書が正しく、漏れずに通訳されたのか、が最大の関心事です。逆に、それさえクリアできれば、成功です。ただ、それを、わさわさしているパーティー会場で正確に聞き取るのは厳しいです。

ちなみにパーティーでは、挨拶する方の声が聞きづらいことがよくあります。話し手の近くにいれば大丈夫だと思われがちですが、実は、にぎやかなパーティーでは

全然聞こえない。アンプの近くに立たせて頂き、メモを取るための台をご用意頂きたいです。

混乱しそうな人名や肩書ですが、こちらは全部、実在の知事、市長です。「山梨県の長崎知事」「岡山県の伊原木知事」「佐賀県の山口知事」「千葉市の熊谷市長」これを勢い良く言われると、県の名前と知事の名前が混乱します。

また、半分私の創作です。「ホンダの松田・取締役マーケティング事業本部長」「竹中の清水コンシューマープロダクツ事業開発室長」。最近、長い、カタカナの肩書が増えていて、メモを取り切れません。是非、名刺のコピーなどを下さいませ。

ただ、残念ながら、「事前情報や資料は何もありません〜ん!」と言われることがよくあります。発言内容が分からないまま通訳するのは、「明日、江戸時代についてのテストをします」と言われるようなものです。とりあえず、歴代の将軍や政策を押さえますが、実は農産物の会議だった、という感じです。何もなくても、通訳は、ネットで過去の発言などを探したりして、できるだけ準備はします。

何もなかった例です。中曽根三世議員、3年前に結婚しました。その披露宴に全編に日英同通をつけ、私は会場に設けられたブースで通訳しました。華燭の典ですが、当日になっても情報がなく、新婦が何者かが分からない状況でした。

一方、挨拶をする来賓は、大・主賓が麻生太郎氏、新郎側の主賓が二階俊博氏、新婦側が岸田文雄・総理であることだけは、分かっていました。でも挨拶原稿はなくて、何が飛び出すか分かりません。そこで、おじいさんの中曽根康弘氏が総理だった当時の麻生さん、二階さん、岸田さんが何年生だったかを調べ、自民党の役職や宏池会はじめ派閥などを調べ、英訳し、中曽根三世の公約なども準備しました。結局、当日、そういう話しは一切出ませんでした。岸田さんが新婦側で呼ばれたのは、実は新婦の一族が広島出身で、そのつながりだった、ということで、細かい広島の地名や組織名や名産物が出てきました。知りたかった情報でした。中曽根三世が、延々と語る花嫁への愛では、慣れない訳に汗をかきました。一番つらかったのが、引き出物でした。虎屋のお菓子でしたが、中曽根家の引き出物は、デパートで買えるような物ではありません。特別なもので、虎屋の方が出てきて、長々と説明されました。一年に数トンしか採れない豆を使い、沖縄産の高級な砂糖を使った、非常に貴重な和菓子だそうです。豆や砂糖の栽培法や製造法までお話しされました。その場で必死にスマホで豆の名前や製法を調べても、英語は調べきれません。結局、「special beans と special sugar を mix した、very special なスイーツ」でまとめました。

繰り返しますが、原稿や資料を頂けたら、しっかり準備しますし、なくても、それなりに頑張って準備はします。

もう一つ、是非お願いしたいこと。「ゆっくり話して頂きたい」、ということです。話し手が早口の場合、振り落とされないように、机の端を握りしめて通訳しています。「時間が押していますので、15分ではなく、10分をお願いします」と言われた話し手が、「大丈夫。速くしゃべって全部言うから」と言うことがよくあります。それを聞くと暗い気持ちになります。どうしても早くなってしまう場合はせめて、数字をはっきりと、そして羅列はスローダウンして下さい。

通訳として、一番残念なのが、「原稿を棒読み」「大量の原稿が来たのが、本番15分前」「原稿も資料もな

く、早口」な方です。こういう場合、ブースの中は殺意に満ちています。もちろん必死に訳しますが、情報は落ちるし、正確な訳語にはつまると、何よりも早口で必死の訳を聞いているオーディエンスが気の毒です。発表者も、時間とエネルギー使っても伝わりにくくて、もったいないです。

大切なのは、全部言い切るのではなく、相手に伝えることだ、と思います。文句が多いから、「AIに通訳を頼む！」と思う方もいらっしゃるでしょう。確かに、技術の発達は目覚ましいです。ただ、「この人、こういう風に発言、質問したけど、本当はこういうことを言いたいんじゃないかな」と推察し、言葉を補って真意を伝えるようにするのは、やはり人間でなければできない、と思います。

最後に、私自身のことですが、ご紹介頂きましたように、古い帰国子女です。大学卒業してすぐに就職したのが銀行だったので、金融に強いよね、と言われるのですが、まったくダメ、です。得意分野はありませんが、好きなのは、安全保障、軍事、テロ、など紛争系です。防衛庁に行くワクワクします。

写真は、元、陸上自衛隊の番匠幸一郎さんです。自衛隊がイラクのサマワに派遣された時の最初の隊長です。仕事の際、無理やり一緒に写って頂きました。今後、第6波が来ると言われていますが、活動も少しずつ再開しています。オンライン通訳はありがたいですが、通訳の醍醐味は、知らないテーマを知れることに加えて、知らない人と会うこと、知らない所に行けること、です。ですので、いずれ皆様のお役に立てることがありましたら、嬉しく思います。その際には、是非、資料を用意して頂き、ゆっくりとお話し頂けたら幸いです。